

工期を4年に縮めるために 騒音コンター見直さず 環境アセス法も踏み破る

——やることすべてがデタラメ！

政府・国交省は私たち地元住民の「反対」の声を押し切って、暫定滑走路の北延伸を決定しました。3年前に暫定滑走路を強行し、行きづまって再度の北延伸に踏みきるばかりか、なおも東峰・天神峰に移転を迫るとは、まったく許すことはできません。

●騒音レベルは上がり地価は下落

この北延伸で滑走路は320メートル延長されます。暫定滑走路は当初計画よりも800メートルずらして造られましたから、結局1120メートルも北にせり上がることになります。しかもこれから飛ばすジャンボ機は、今飛んでいる中型機よりも5～10デシベルも騒音レベルが上がります。

ところが、国交省と空港会社（NAA）は、騒音補償のためのコンターを広げず、環境アセス法で決められている影響評価の手続きも「延ばすのは320メートル（実際は1120メートル！）だから不要」と言って、踏み破ろうとしています。こんなデタラメは許されません！

NAAはこれまで、北延伸の工期は「6年強」と言っていました。今回「4年」に縮めるとしています。4年後の羽田国際化に遅れをとらないためだということです。だからコンター見直しも環境アセスもしないのです。

十余三、小泉、大室、土室、成毛、幡谷、下総町の住民の生活のことなどまったく考えられていません。

●力を合わせ北延伸を阻止しよう

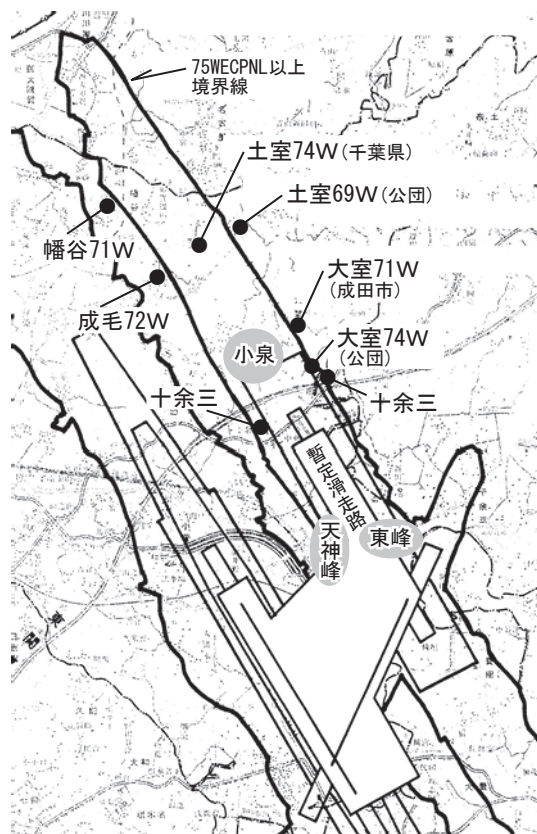
南側の東峰・天神峰では、民家の上空40メートルでジャンボ機が飛びます。これが常軌を逸した殺人的大騒音であることは明らかです。人を人とも思わないこの姿勢こそ、政府とNAA（旧空港公団）の一貫した姿です。

しかも、北延伸で空港の欠陥と危険はこれまで以上に高まります。今の連絡誘導路ではジャンボ機が走行できないため、代わりに東側に大きく迂回する新誘導路をつくると言っていますが、それは滑走路南端のオーバーラン帯間際を横切るといふ大惨事につながりかねない計画なのです。

こんな北延伸を強行するのは、07年上場予定のNAA株価をつり上げるためです。

滑走路の北と南の住民が力を合わせれば、北延伸は阻止できます。農地を守る私たちとともに、延伸をやめさせましょう。

2005年8月6日



【75WECPNL境界付近の騒音レベル】（）内は集計団体

騒音補償の75WECPNLの境界線付近の騒音レベル。中型機しか飛ばない今の数値です。ジャンボ機は中型機よりも5～10デシベルうるさいことから、コンター見直し絶対に不可欠です。



NAAの黒野社長に北延伸を指示する文書を手渡す北側国交大臣（8月4日）

三里塚芝山連合空港反対同盟

（連絡先）事務局長・北原鈺治 成田市三里塚115